

科目名	音楽基礎A1								年度	2024
英語科目名	Basic Theory of Music A1								学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	夏野カレン		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】										
音部記号と音名、音程、調と音階に関する知識を獲得し、音楽を深く理解すると同時に、作曲やアレンジ、演奏にどう応用できるかを学ぶ。音楽用語と記譜法に焦点を絞り、ミュージシャンに必要な最低限の譜面の知識を身につける。										
【科目の概要】										
ミュージシャンとして必要最低限な譜面の知識を学びます。										
【到達目標】										
A. 音部記号と音名、音程、調と音階がわかる。 B. より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る。 C. 音部記号と音名、音程、調と音階の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する。										
【授業の注意点】										
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A	音部記号と音名、音程、調と音階がわかる		音部記号と音名がわかる		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る		実際の作曲やアレンジや演奏と授業内容の関連性がわかる		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	音部記号と音名、音程、調と音階の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		音部記号と音名の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】										
決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		音楽基礎A1			年度	2024
英語表記		Basic Theory of Music A1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音名理解	音符基本	1 音部記号	音部記号を理解する	3	
			2 音名学習	音名の知識を得る		
			3 音名テスト	音名の読み書きができる		
2	リズム基礎	リズム観	1 リズム基礎	リズムの基本を掴む	3	
			2 リズムシェイプ	リズムのシェイプ理解		
			3 リズム実習	リズム表現ができる		
3	ビート学	ビート探求	1 ビート理論	ビートの種類を知る	3	
			2 ビート実践	ビート感を養成する		
			3 ビートテスト	ビートを実際に打つ		
4	復習&解析	基礎確認	1 復習1-3	1-3内容の確認テスト	3	
			2 スコア基礎	スコアの読み込み能力		
			3 読譜練習	実際の楽譜解読ができる		
5	長音階	音階紹介	1 長音階	長音階の理論を知る	3	
			2 調号#系	調号#系の理解を深める		
			3 五度圏表	五度圏表の活用ができる		
6	短音階	音階比較	1 短音階	短音階の特性を知る	3	
			2 調号b系	調号b系を使用する		
			3 音階実習	実際の短音階演奏ができる		
7	転調学	転調初歩	1 転調基礎	転調の仕組みを理解	3	
			2 移調理論	移調の基礎知識を得る		
			3 転調練習	実際の転調・移調実践		
8	移調練習	転調応用	1 転調トレ	転調のテクニック習得	3	
			2 移調実践	移調の実践演習ができる		
			3 移調テスト	実際の曲での転調理解		
9	総復習	中間復習	1 復習5-8	5-8内容の復習テスト	3	
			2 スコア中級	スコア上級の理解を深める		
			3 読譜テスト	実際の楽譜作成ができる		
10	三和音	和音入門	1 三和音	三和音の理論を知る	3	
			2 ダイアトニック	ダイアトニックの活用		
			3 三和音実践	三和音の構築ができる		
11	機能学	和音解析	1 コード機能	コードの役割を理解	3	
			2 機能実習	コードの使い方を知る		
			3 機能テスト	コード展開の実践ができる		
12	和音変形	和音展開	1 基本形	基本形の三和音習得	3	
			2 転回形	転回形の三和音理解		
			3 三和音テスト	三和音の変種を知る		
13	四和音I	四和音初	1 四和音基	四和音の基本を掴む	3	
			2 四和音実習	四和音の構築実践		
			3 四和音テスト	四和音の応用知識習得		
14	四和音II	四和音統	1 四和音応用	四和音の発展技法習得	3	
			2 四和音発展	四和音の変種を知る		
			3 四和音評価	実際の四和音の演奏		
15	まとめ	総合復習	1 前期まとめ	前期内容の総合テスト	3	
			2 全体復習	全体の知識を整理する		
			3 成果テスト	実際の演奏での応用力		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等